

萩博物館企画展

幕末明治の人物と風景

— 藩都萩に眠る古写真から —



明治2年(1869)東京若林で催された吉田松陰慰霊祭に集う広沢真臣・前原一誠・山田顕義ら

平成23年 9月17日(土)~11月20日(日)

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地 TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142
URL <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>
後援 NHK山口放送局 KRY山口放送 tbsテレビ山口 yab 山口朝日放送
萩ケーブルネットワーク株式会社

講演会「幕末・明治の肖像写真」

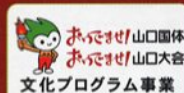
— おもしろいを塗った高杉晋作 —

【講師】井桜直美氏(日本カメラ博物館、古写真研究者)

【日時】11月5日(土) 14:00~15:30

【場所】萩博物館講座室(定員80名、参加費 無料)

- 開館時間：午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料：大人500円 高校・大学生300円 小・中学生100円
[団体割引20名以上20%・障がい者割引20%]
- 駐車場：有料(※萩市民は無料)
普通車66台(1回300円) バス8台(1回1,000円)



萩博物館
企画展

幕末明治の人物と風景

— 藩都萩に眠る古写真から —

本展覧会は、萩博物館の収蔵資料のなかから、幕末・明治期の歴史を物語る「古写真」に焦点をあてて紹介するもので、大半が初公開の資料です。

欧米列強が東アジアに進出してきた19世紀後半、日本は開国の道を選択しました。その過程で欧米から日本へ移入した文物のひとつに、1839年にフランスで発明された写真があげられます。日本が幕末を迎えようとするころ、ありのままを写し撮ることのできる写真がもたらされたことは、今日から見ればたいへん幸運なできごとだったといえるでしょう。

展示では、「人物編」と「風景編」の二部構成で古写真を選定し、幕末・明治という時代の雰囲気に取り入ります。これらの写真からは、激動に立ち向かった人々の力強い表情や、近代化草創期の風景・建物などが視覚的によみがえります。萩の人物や風景を中心にしながら、明治時代に活躍した他地域出身の人物などもあわせて紹介します。



慶応2年(1866)英国キング提督と藩主毛利敬親・元徳父子



明治初年、萩城天守および有倉松



明治中期、萩八景のうち「玉江の秋月」



明治中期、八丁(南園)御殿(萩市江向)での八重姫ら

ギャラリートーク(学芸職員による展示解説)

日時：9月17日(土)、10月15日(土)、11月19日(土)
いずれも午後2時から30分程度

同時開催 高杉晋作資料室 テーマ展示

「生誕170年記念 吉田稔麿の生涯」

開催中～平成24年3月31日(土)

交通アクセス

- ◎JR東萩駅よりタクシー10分／徒歩30分
- ◎JR新山口駅よりバス70分(萩バスセンター下車、徒歩20分)
- ◎萩・石見空港よりバス75分(萩バスセンター下車、徒歩20分)
- ◎萩バスセンターより「まーるバス」西回り10分「萩博物館前」下車すぐ
- ◎中国自動車道美祿東JCT→小郡萩道路絵堂ICより20分
- ◎山陽自動車道防府東ICより70分

萩博物館

